

各 位

株式会社八十二銀行

「CO2 排出量ネット・ゼロ」達成について

八十二銀行（頭取 松下 正樹）は、2023 年 6 月、国内の銀行で初めて（当行調べ）、温室効果ガス（CO2）排出量（スコープ 1・2）ネット・ゼロを達成いたしました。

当行は、中期経営目標の一つに「温室効果ガス（CO2）排出量 2023 年度ネット・ゼロ」を掲げ、排出量の削減に取り組んでまいりました。

2022 年度は省エネ設備の導入、ZEB 店舗の拡大、信州産 CO2 フリー電力の利用拡大、長野県由来のカーボנקレジットの取得等の施策を進め、目標に対し 1 年前倒しで温室効果ガス（CO2）排出量ネット・ゼロを達成いたしました。

今後も、GX（グリーン・トランスフォーメーション）への取り組みを進め、地域の脱炭素化に貢献してまいります。

【カーボנקレジットの取得について】

対象 ^{※1}	カーボנקレジットの種類	カーボנקレジットの認証範囲
スコープ 1 （当行が事業活動等において直接的に排出した排出量）	J クレジット ^{※2}	長野県内の森林保全管理による CO2 等の吸収量等
スコープ 2 （電気等の使用に伴う間接的な排出量）	非化石証書 ^{※3※4}	長野県内の水力発電所による CO2 等の排出削減量

※1 海外拠点を含む温室効果ガス（CO2）排出量

※2 J クレジット：省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用による CO2 等の排出削減量や、適切な森林管理による CO2 等の吸収量を国が認証し、証書の形で取引を可能にしたもの。

※3 非化石証書：非化石電源（化石燃料を使用しない発電方法）で発電した電気が持つ「環境価値」を取出し、証書の形で取引を可能にしたもの。

※4 非化石価値取引市場（日本卸電力取引所）から直接取得することで、当行の使用電力を実質再生可能エネルギー化いたしました。なお、調達に関しては株式会社ホールエナジー（代表取締役 浅野 浩志）と非化石証書自社調達支援契約を締結し、支援を受けました。

（非化石価値取引市場からの非化石証書の直接取得は、地方銀行初の取り組み）

以 上